

インフラ・プラントの劣化診断

中電シーティーアイの振動分析ソリューション

株式会社中電シーティーアイ

社会インフラの老朽化対策は待ったなし



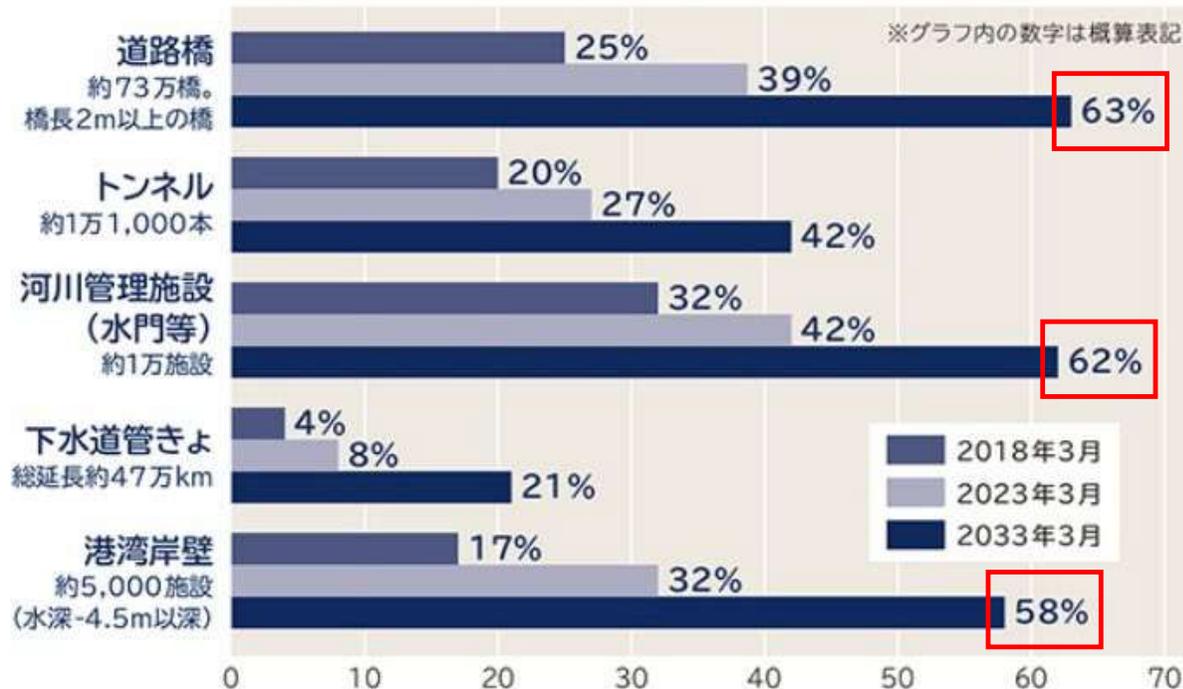
社会インフラ老朽化の概況

社会インフラの老朽化、需要拡大の市場規模と地域別内訳



出典：国土交通省「インフラメンテナンスを取り巻く状況」のデータを元に作成

日本における建設後50年以上経過する社会資本の割合



出典：国土交通省 インフラメンテナンス情報「社会資本の老朽化の現状と将来」のデータを元に作成

独自の振動分析技術で社会インフラの劣化を診断

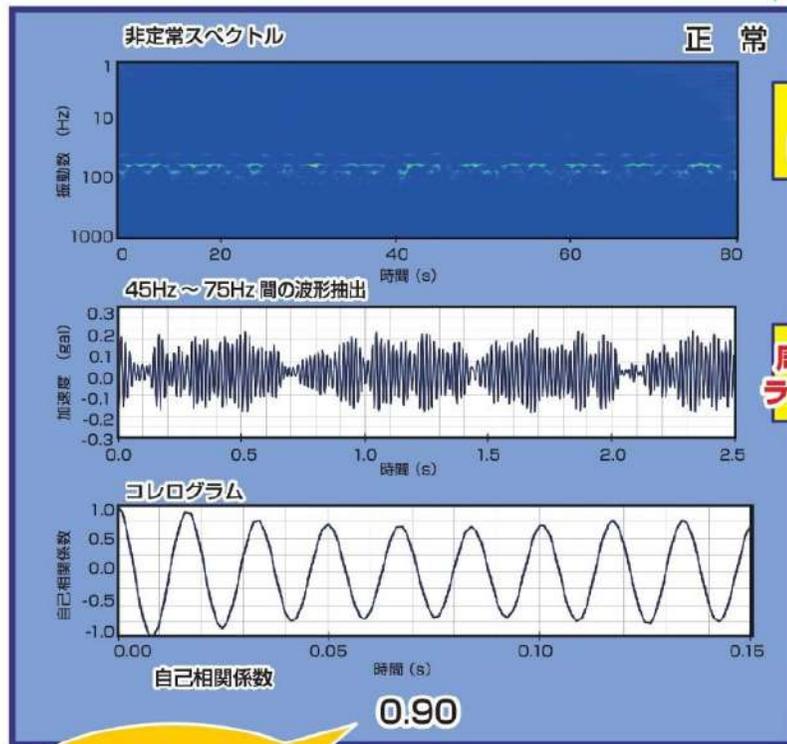


分野	対象物	概要
インフラ	道路	掲示板・照明等の支持ボルト緩みや劣化判定
	橋	道路橋の自動車走行振動による劣化診断
	鉄道設備	駅校内設置物等の支持ボルト緩み判定
	電柱・鉄塔	鉄塔構成ボルトの緩み判定、コンクリート柱劣化の判定 営巣材による地絡防止のための鳥類飛来判定
プラント	機器・設備	回転体異常早期診断
		ベアリング異常早期・遠隔診断
		ヒートポンプ巡視点検員削減のための監視システム 機器異常判定のための複合計測システム
製品	工場ライン製造物の不具合品判定	

中電シーティーアイ独自の振動分析技術とは？

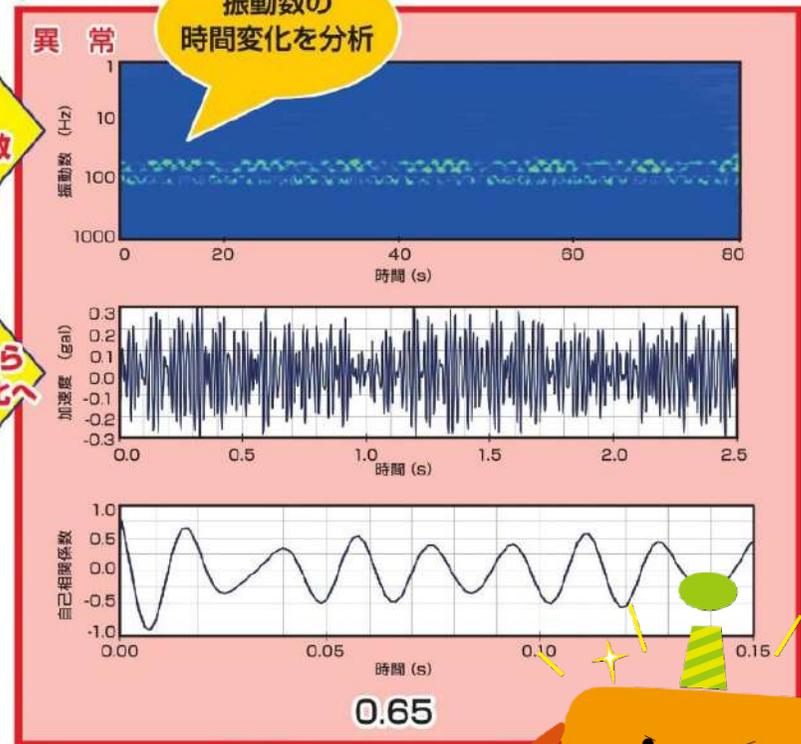
静的な振動周波数分析（スペクトル分析）だけでは、異常は判別できません。
 中電シーティーアイは、**振動周波数の時系列変化から異常を検知します！**

判別可能



異常時は
振動数が分散

周期的変化から
ランダムな変化へ



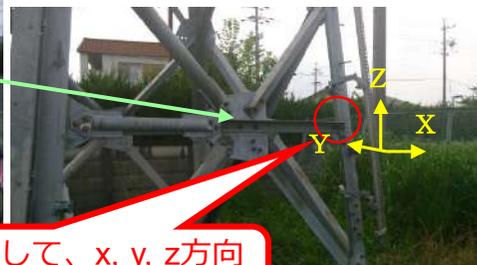
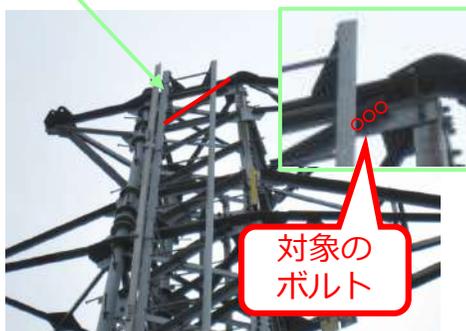
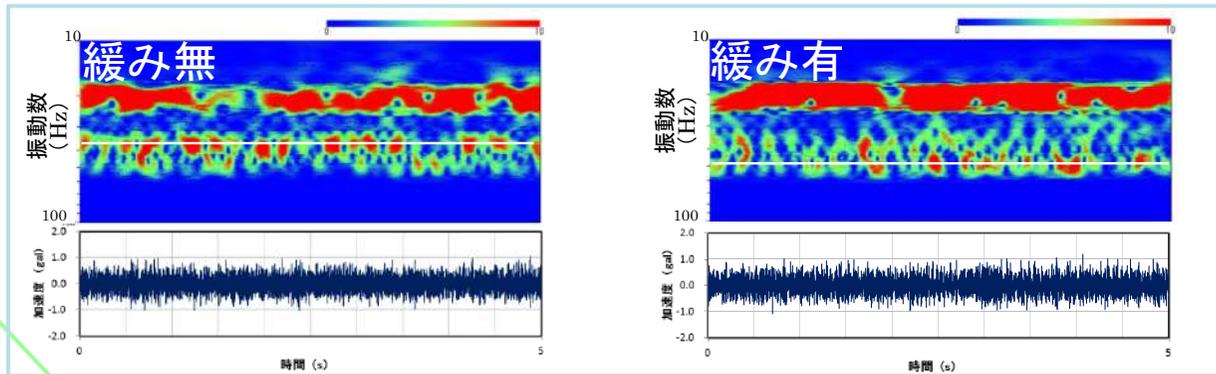
正常であるほど
1.0に近い

周波数変化の自己相関性を分析し異常を判定
 周波数変化（分散性）が大 ⇒ **異常を発見！**



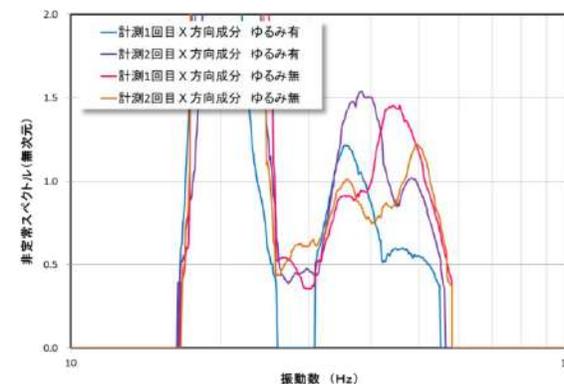
【事例 1】 鉄塔のボルト緩みの判定

- 鉄塔の常微振動（風など環境によって常時発生するわずかな振動）を計測しました。
- 静的な振動周波数分析（スペクトル分析）では、異常だとは分かりません。



センサーを設置して、x, y, z方向の振動成分を計測します。

緩み有無比較

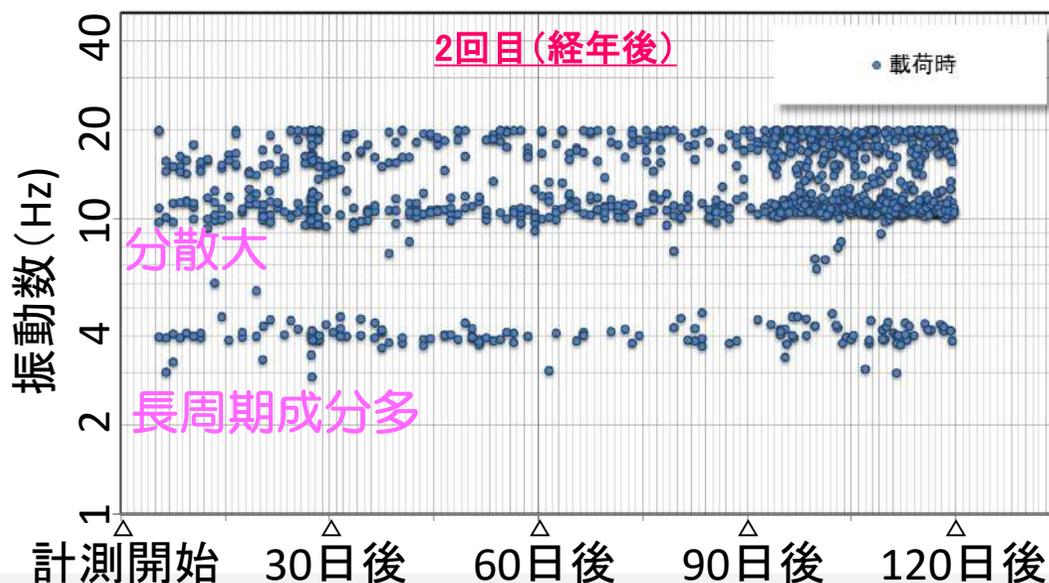
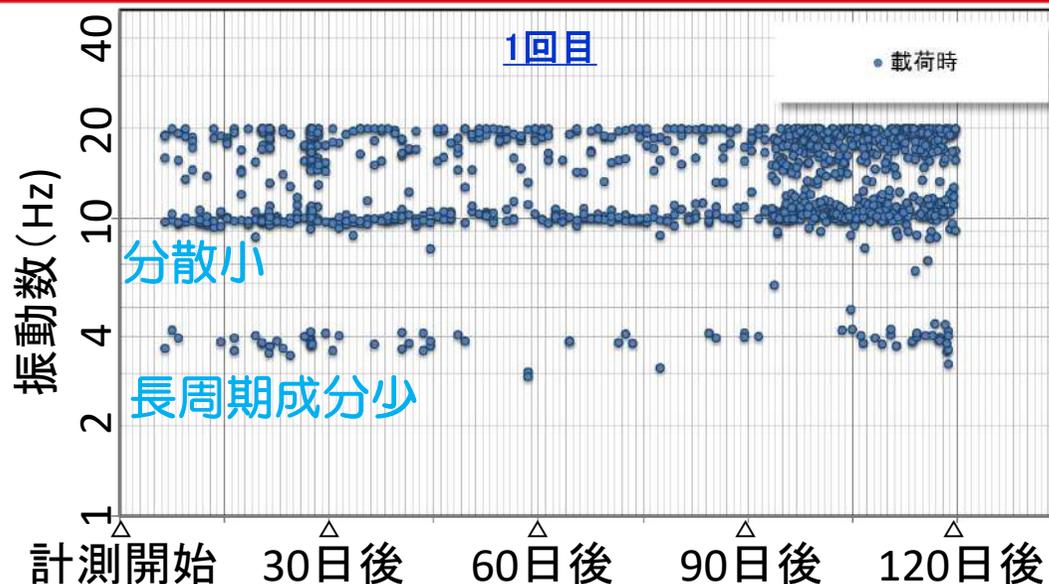


	振動数 (Hz)			比率
	計測1回目	計測2回目	平均	
緩み有	35.842	38.314	37.078	1.283
緩み無	45.662	49.505	47.584	

ピーク振動数の結果から、ボルト緩みの発生が分かりました。

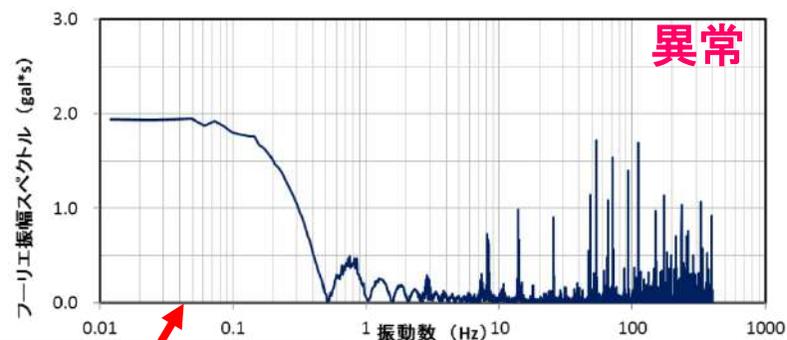
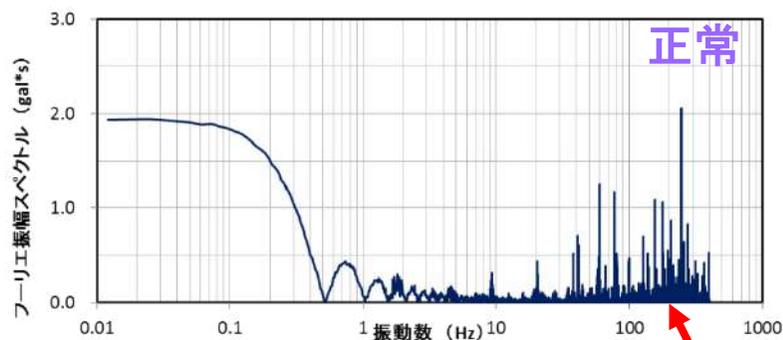
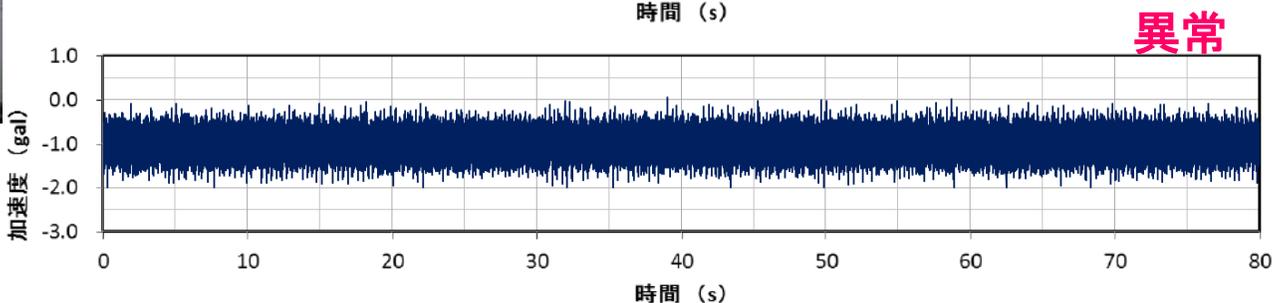
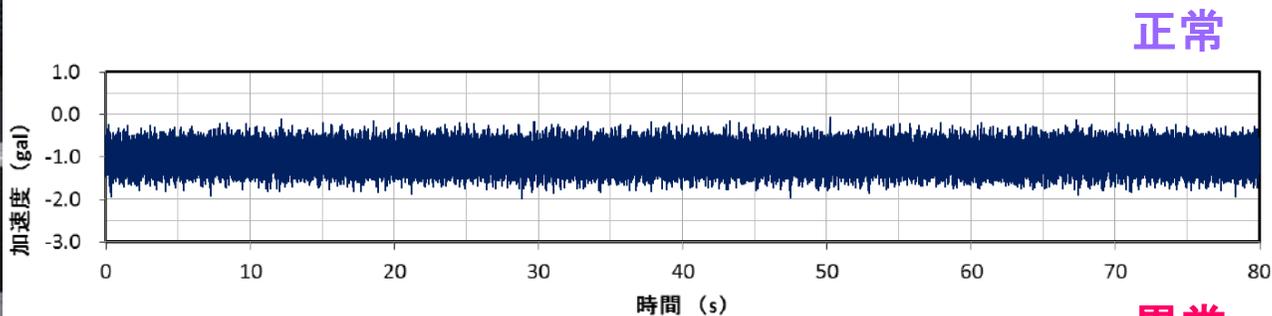
【事例 2】 橋梁の経年劣化傾向の検知

- 橋梁の载荷（車両の通行により荷重がかかる）による振動が、経年による変化することを確認しました。
- 経年劣化によって、振動数が分散化し、長周期成分が増加することが分かります。



【事例3】コンプレッサの故障診断

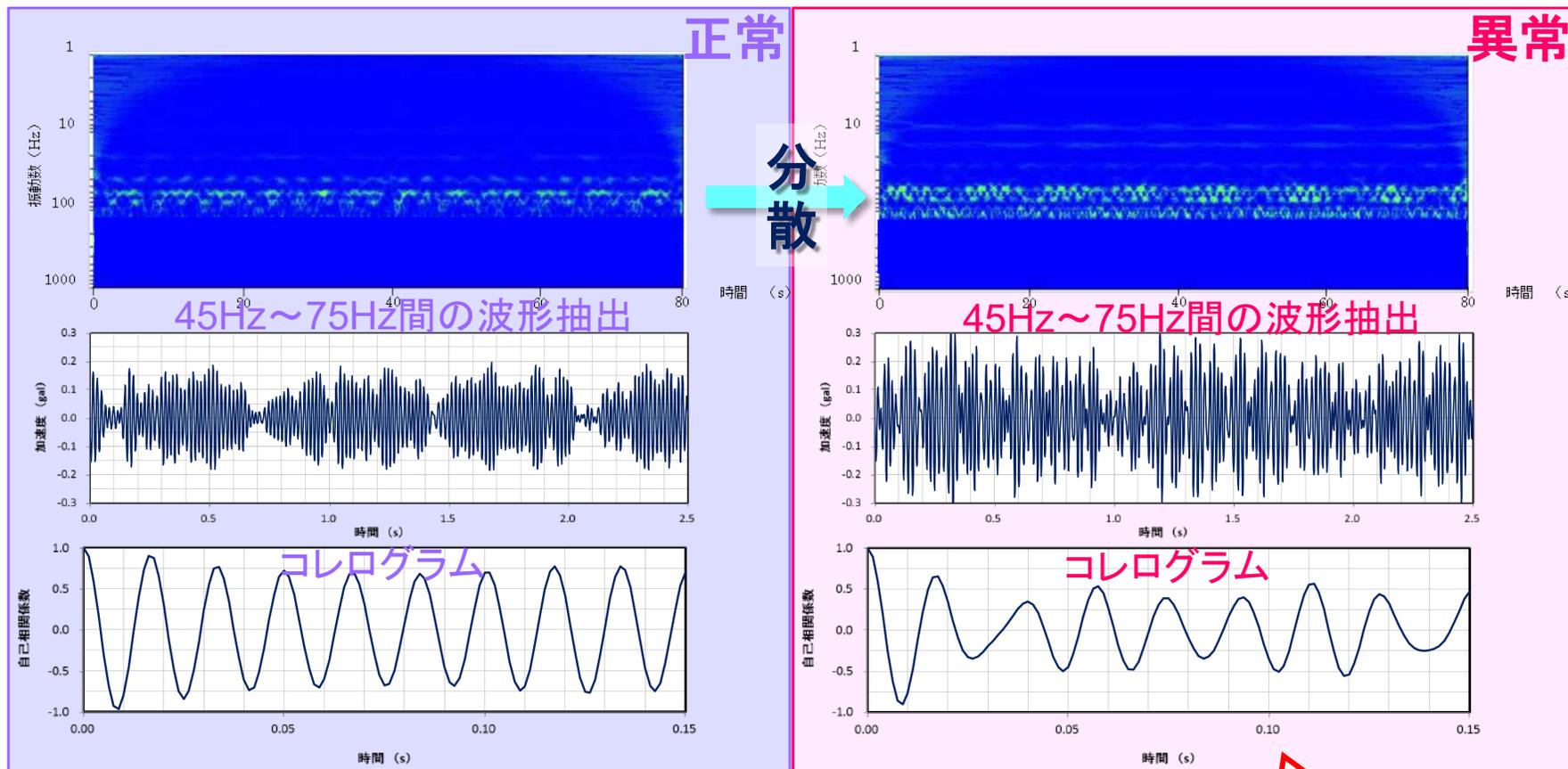
- コンプレッサ運転時の振動を計測しました。
- 静的な振動周波数分析（スペクトル分析）では、異常だとは分かりません。



FFT（高速フーリエ変換）によるスペクトル分析では、正常／異常の違いが分かりません。

【事例3】コンプレッサの故障診断（つづき）

■ 振動周波数の時系列変化（分散性）を分析することで故障を検知。



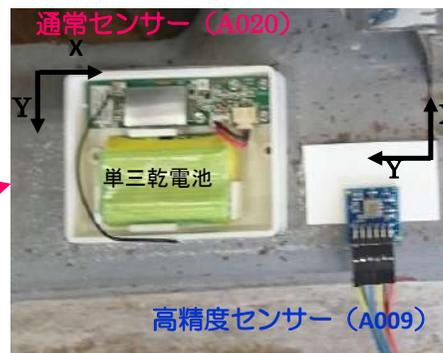
自己相関係数

正常	異常
0.902	0.646

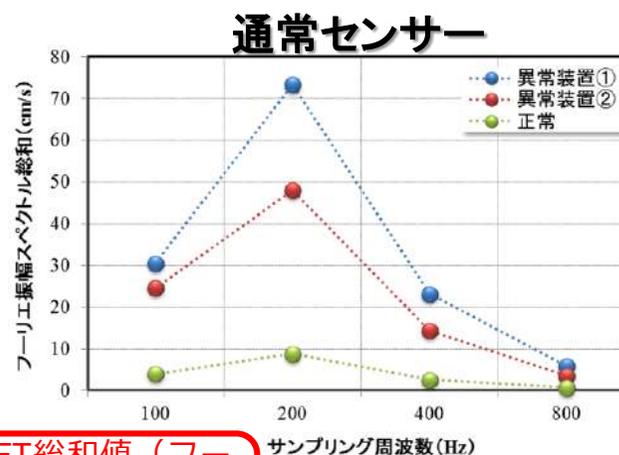
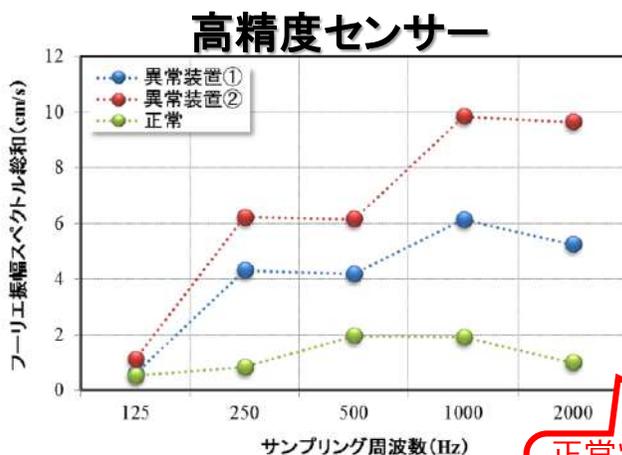
異常が発生すると、振動周波数が分散し、自己相関性が小さくなります。

【事例4】ベアリング故障診断の試み

- プラント機器（電動ポンプ）の基礎部に設置した安価なセンサーで運転時の振動を計測し、このデータからのポンプ回転部（ベアリング）劣化診断の可能性を評価しました。



センサー	振動数 (Hz)				
高精度センサー (A009)	125	250	500	1000	2000
通常センサー (A020)	100	200	400	800	-



正常状態ほどFFT総和値（フーリエ振幅スペクトル）が小さいことが見受けられます。

お問い合わせ

- 中電シーティーアイ ホームページ

<http://www.cti.co.jp>

- 「インフラ・プラントの劣化診断」に関するお問い合わせは「振動分析ソリューション」のページの問い合わせフォームからお願いします。

<http://www.cti.co.jp/solution/analysis/vib/>



